

## 平成31年度 年間授業計画

- 1 学年・科目・単位数  
第2学年 機械工作 2単位
- 2 担当教員
- 3 教科・科目のねらい  
生産は、つねに品質と生産性の向上が重視される、そのために様々な工作機械や加工法について正しく理解させ、設備・材料・工作法などを効率よく活用出来るようにする。
- 4 年間授業計画

学期	単元 (授業内容/時間)	重点項目	評価の観点
1	切削加工 切削加工のあらまし 切削工具 計9～15時間	機械科の生徒として必要な基礎的な知識を理解させる。	工具の種類・材質・形状各部の名称・用途および特徴について理解出来る。
	切削加工 切削条件の選定 切削理論 計10～15時間	機械科の生徒として必要な基礎的な知識を理解させる。	工作物の材質に適した切削速度を計算出来る。 工作物と刃物の関係において切削のメカニズムを理解できる。
2	工作機械 工作機械の構成要素 工作機械の駆動装置 計12～15時間	機械科の生徒として必要な基礎的な知識を理解させる。	工作機械の主運動・送り運動・位置調整運動および駆動装置の運動速度をどのような方法で制御するかを理解出来る。
	工作機械 各種の工作機械 計14～15時間	機械科の生徒として必要な基礎的な知識を理解させる。	各種の工作機械について、その作動原理・特徴を理解出来る。
3	砥粒加工と特殊加工 各種の研削方法 放電加工・レーザ加工 計18～19時間	機械科の生徒として必要な基礎的な知識を理解させる。	研削に関する知識および特殊な装置による加工方法について理解出来る。

- 5 使用教科書・副教材他  
新機械工作 (実教)
- 6 評価方法・観点

各定期考査の結果、小テスト、出席状況・提出物等を総合的に判断し評価を行う。評価観点は、各学期のものを総合的に踏襲する。

※なお、上記は予定であり、行事等により一部変更になることがある。